

気象データを “R”で可視化してみよう！

～クロージングにあたって～

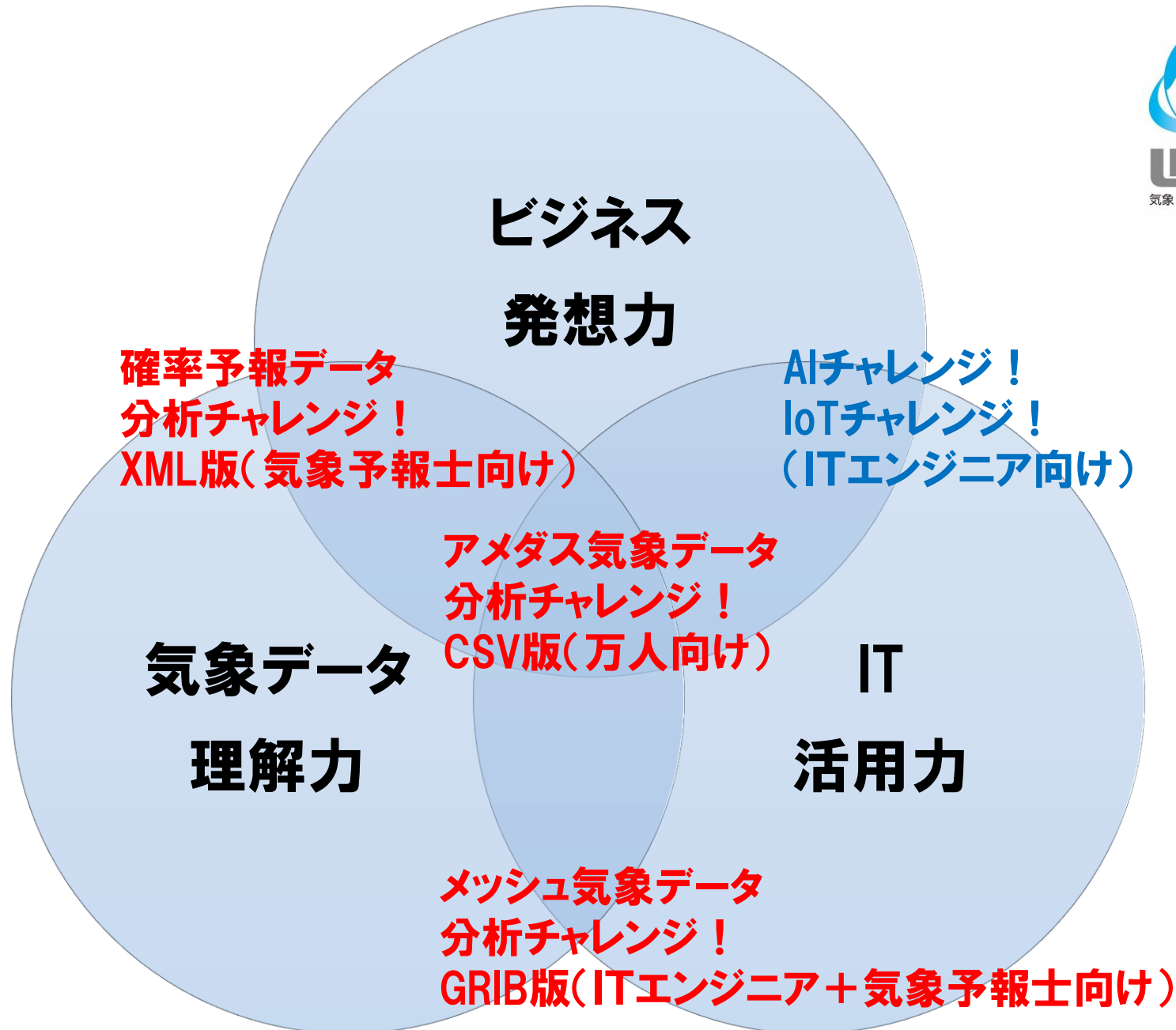


先端IT活用推進コンソーシアム(AITC)
気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)



【リマインド】 本コースの目的と流れ

- **目的:**
 - ・気象データの基本に慣れ、他データを掛け合わせた分析を行い、“R”で可視化できるようになる。
 - ・データ分析と可視化に必要な基礎知識・作業を理解し、今後のステップアップに自ら取り組めるようになる。
- **流れ:**
 - ・気象データの紹介
 - ・気象データと組み合わせるデータの紹介I
 - ・データ分析の基礎と個人ワーク
 - ・回帰分析の基礎
 - ・気象データと組み合わせるデータの紹介II
- **分析ツールの発展可能性:**
 - ・今回は分析ツールとして“R”を取り上げましたが、有償・無償を問わずデータ分析のためのツールは色々あります。色々な形での勉強会も開催されています
 - ・これらのより高度なデータ分析ツールを使うことで、最新のIT技術(AI、IoT、ビッグデータ、クラウドなど)を利用できるようになります
- **次のテクノロジー研修予告**
 - ・メッシュ気象データ分析チャレンジ！ → 鋭意準備中！



皆様へのお願い

1. この「気象データを”R”で可視化してみよう！」の資料と動画ファイルをAITCとWXBCの会員限定で公開する予定です。今回の参加された皆様には公開資料等を参考に、夫々の職場において**今回学ばれたことを活かし、また周囲に伝播**していただけるようお願いいたします。
2. このセミナーをきっかけに、参加者同士の交流が始まることを期待しています。終了後に開催する**懇親会を情報や意見交換の場、人脈作りの場**として是非ご活用ください。
3. **平成30年度WXBCセミナー等のシラバスを公開しています。**今後のスキルと知見の習得計画の目安として、是非お役立てください。
https://www.wxbc.jp/wp-content/uploads/2018/06/seminar2018_syllabus_20180607.pdf
4. **アンケートのお願い**
今後のコース改善のため、是非、率直なご意見、ご感想、ご要望をご記入ください。